

1. 評価結果概要表

作成日平成21年8月19日

【評価実施概要】

事業所番号	3770103301
法人名	有限会社 完土
事業所名	グループホーム実の里
所在地	香川県高松市十川東町938-1 (電話)087-848-5155

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年7月10日	評価決定日	平成21年8月19日

【情報提供票より】(21年5月29日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年 9月 1日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	20人 常勤 9人, 非常勤 11人, 常勤換算 16.2人

(2)建物概要

建物構造	鉄骨造り
	1階建て

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	18,000円+実費	
敷金	有()円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	100円
	または1日当たり		1,200円	

(4)利用者の概要(5月29日現在)

利用者人数	17名	男性	5名	女性	12名
要介護1	4名	要介護2	3名		
要介護3	8名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	67歳	最高	95歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	ミタニ藤田病院、松之内歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、丘陵地の見晴らしの良い場所にあり、周囲は田園地が広がり、静かで日当たりが良い所に位置している。また、ホームの前には畑があり、自然を身近に感じることができ、入居者の方が生活を送るうえで恵まれた環境である。建物は、中央に事務室と調理室があり、2ユニットは自由に行き来できる構造になっている。ホームの理念である、「安全で快適な生活の支援」や「自然と触れ合う環境作り」を基本とし、地域に根ざしたホーム作りに努力している。入居者の方と職員はお互いが寄り添いながら生活しており、「安心とあたたかさ」を感じられる取り組みをしており、入居者の方々は穏やかな表情をされ、家族からも信頼を寄せられている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価での課題は、緊急の避難経路や緊急時の手順の作成であった。管理者及び職員が課題について共有し、避難経路と緊急時の手順の作成を図っていた。</p> <p>改善課題に対して、具体的に改善するなど、意欲的に取り組む姿勢がうかがえる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は、評価の意義を理解する為の職員会議を開催すると共に、自己評価に取り組んでいる。また、改善項目は解決できるところから取り組んでいる。今後は、全職員による自己評価や評価の活用方法についての取り組みを期待したい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、2カ月毎に開催しており、ホームの説明や状況の報告、意見交換が行われている。また、地元自治会長と災害時協力を働きかける取り組みを行うなど、会議で討議された内容をサービスの質の向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月、「ホームだより」で家族に入居者の暮らしぶりや健康状態を報告すると共に、面会時にも入居者の暮らしぶりや健康状態を伝え、家族からの意見・要望を聞いている。日頃から家族が意見や要望が言いやすい雰囲気作りに努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>野菜を頂く等、日常的に近所の方との交流をしている。また、地域の敬老会への参加や秋祭りでの獅子舞の訪問を通して自治会との交流を図っている。一方、地域の自治会活動等への積極的な参加や共同での取り組みが今後の課題となっている。入居者一人ひとりが地域とつながりながら暮らしていける様に、地域の様々な行事への積極的な参加を行うと共に、婦人会・ボランティアグループ等との交流を促す取り組みを期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の方が地域で安心して暮らせるよう「安全で快適な生活、生きがいのある生活、自然と触れ合う環境づくり」などを目指した事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念は目のつくところに掲示し、管理者及び職員で共有しており、日常のケアで活かしていることがうかがえた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	野菜を頂く等、日常的に近所の方との交流をしている。また、地域の敬老会への参加や秋祭りでの獅子舞の訪問を通して自治会との交流を図っている。一方、地域の自治会活動等への積極的な参加や共同での取り組みが不十分であった。	○	入居者一人ひとりが地域とつながりながら暮らしていける様に、地域の様々な行事への参加を行い、地域の自治会や婦人会・ボランティアグループ等との交流を図っていく取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を理解する為の職員会議を開催すると共に、自己評価に取り組んでいる。また、改善項目は解決できることから取り組んでいる。しかし、全職員による自己評価や評価の活用方法についての取り組みが不十分であった。	○	管理者や全職員が評価のねらいや結果を共に話し合う機会を設ける取り組みを期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの説明や状況の報告がされている。会議での意見がホームのサービス向上への活動や地域の支援を得るための機会としている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者は、運営推進会議に参加するなどホームにおける運営上の相談に対応できる関係が保たれている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、「ホームだより」で家族に入居者の暮らしぶりや健康状態を報告をしている。家族の面会時には、入居者の暮らしぶりや健康状態を伝えたり、緊急時には電話連絡を行っている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見・要望を聞く機会を図ると共に、日頃から家族が意見や要望が言いやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が定着できる様に、入職時にグループホームでの業務内容を十分に説明している。また、職員が入居者に馴染める様に取り組んでいる。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加の働きかけを行い、情報を職員で共有している。外部研修への希望者が積極的に参加できる様に配慮しているが、段階に応じ計画的に受講できるまでには至っていなかった。</p>	○	<p>職員の立場、経験や習熟度の段階に応じた研修計画を立案すると共に、職員が働きながら技術や知識を身につけていくための取り組みを期待したい。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者や職員は、地域の関係事業者と交流する機会や情報交換をしている。地域のネットワークづくりや勉強会を通じたサービス向上の活動をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には見学をして頂くなど、本人が早く馴染める様に家族と協同で取り組んでいる。また、入居者の状態の把握と馴染みの関係づくりに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員からの一方的なケアではなく、入居者と喜怒哀楽を共に出来る関わりを通して、入居者の方から教えてもらうなど、共に助け合う生活をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者や家族から生活歴などを聞いてたり、日々の会話や表情、しぐさ等から本人の思いや意向を把握するよう努めている。また、職員間で入居者の希望に添える為の話し合いを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者や家族から生活の意向を聞き、職員との話し合いを行い、入居者の考えや思いが反映された個別の介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直し及び入居者の状態の変化に伴った見直しをしている。また、家族や職員、関係者との十分な話し合いに努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者・家族の要望や状況に応じ、外出や買い物等の支援は臨機応変に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医療機関以外にも、かかりつけ医の医療を受けられるよう支援している。また、定期的に協力歯科医の受診を実施している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期には入居者・家族並びにかかりつけ医と話し合いを繰り返し行い、方針を関係者で共有した支援を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員から入居者の誇りを傷つけたり、プライバシーを損なう様な言葉かけや対応はみられなかった。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の入居者の心身状態の把握を行い、入居者一人ひとりの生活ペースを大切に支援を行っていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を取るなど楽しんで食事をしている。また、入居者個々の力量に応じ食事の準備や後片付けのお手伝いをさせていただき取り組みをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者一人ひとりの希望や心身の状態に応じた、入浴支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴などから得意な事を把握し、趣味や希望に応じた取り組みをしている。また、洗濯物たたみなど、日常的な役割もその人の経験を活かした支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や季節に応じながら、入居者の希望により可能な限り外出できるように支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や各部屋に鍵はしていない。入居者の安全面に配慮して自由な暮らしを支援しており、利用者に寄り添い安心できる対応をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力により、年2回の避難訓練を実施している。また、民生児童委員や自治会に災害時の協力を働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者個々の食事摂取量を把握し、毎食記録している。また、お粥や刻み食の対応や水分摂取についても利用者に合った支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間にはテーブルや椅子等、入居者それぞれの居場所の配慮をしている。また、自然の光や季節感を取り入れた花及び装飾もあり、居心地良く生活できる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者により、居室にテーブル、椅子、装飾品などの備品を準備している。また、使い慣れた物を持ち込み、その人らしい生活ができる様に配慮している。		